

要約問題の取り組み方

松江北高英語科

1. 要約問題の基本 … 読解問題の最高峰であると認識せよ(東京大・広島大など)

「要するにこの英文は何を言いたいのか、要点を簡潔にまとめてくれ」

「**テーマと筆者の主張の発見**」が全て!

論理的な書き方や筆者の主張を示す表現に注目

要確認

- (1) 与えられた英文を読んで、その中で**中心的な部分**と**補足的な部分**とに分ける。
 - 1つのパラグラフに1つのトピック (筆者が何について論じようとしているか) がある。
 - トピックセンテンスは通例パラグラフの冒頭にある。→末尾→中間部
 - 第1パラグラフに文章全体のトピックがある。
- (2) 中心的な部分を優先的に含め、補足的な部分は取捨選択する。
 - 筆者の主張を含むキーセンテンスを発見 (逆接表現や疑問文に注意) する。
- (3) 明確に要点が伝わるように日本語で整理し、無駄な部分をそぎ落とす。
 - 主題との関連の強い抽象的表現を中心にまとめ、具体例やエピソード、同じ内容の繰り返しは思い切って捨てる。



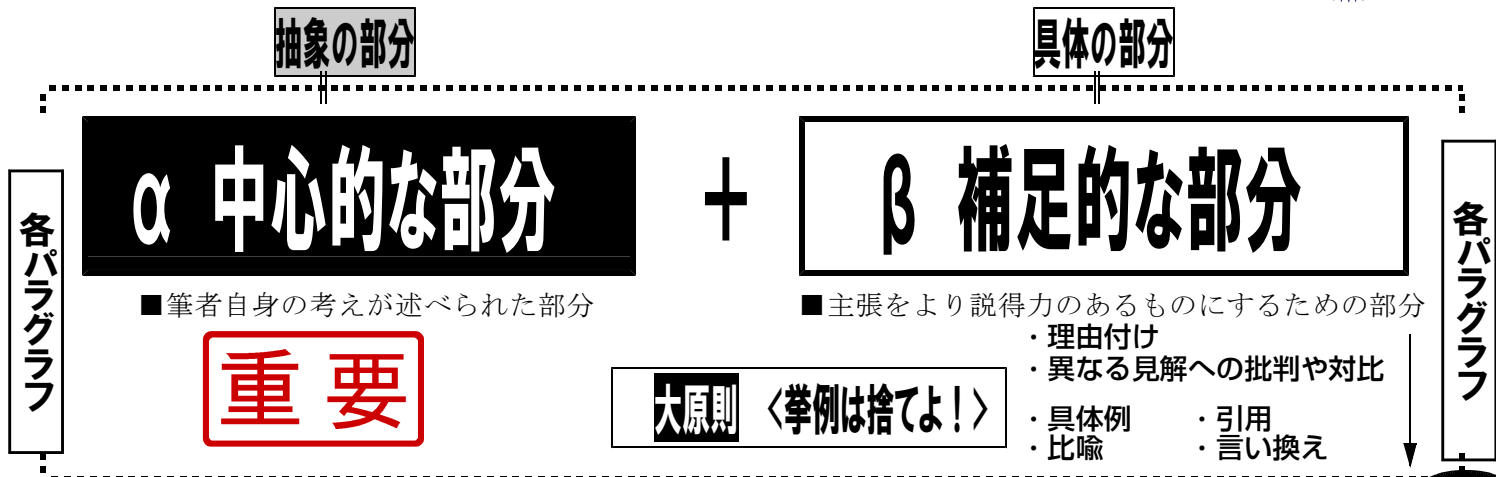
重要な箇所!!
 (1) 最初と最後
 (2) Butの後
 (3) 疑問文

2. 解法の手順

論理的文章の基本構成: **序論** → **本論** → **結論**

(問を立てる) (論証を展開) (答える)

何度も出てくる重要な言葉 (キーワード) と、特に重要と思われる文に印をつけながら英文を読む → 余白に段落メモ



(1) 字数に 余裕のないときは

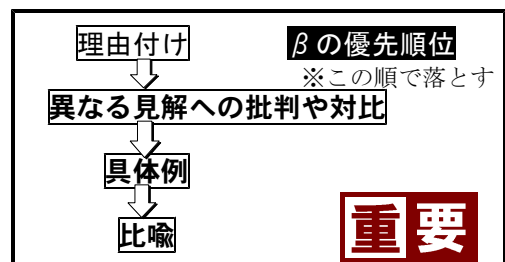
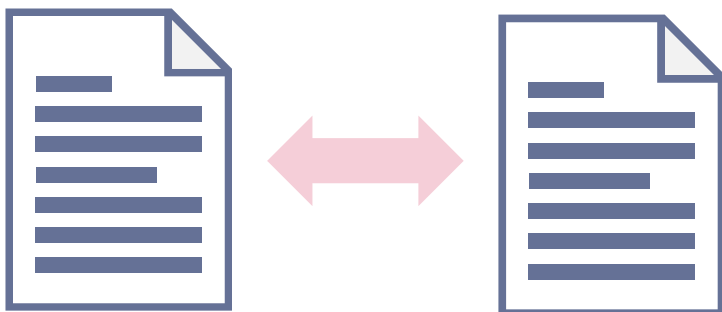
α だけで →

β は捨てる

(2) 字数に 余裕のあるときは

α を中心に →

β を少しずつ入れる



3. 字数の調整 … 最低でも8割以上は埋める

- ① 書くべきだと思ったことを、字数を気にせずとにかく書く。白紙は避けよ。
 - ② 内容を削らずに字数だけ削る。
 - ③ 漢字を多く使い、冗長な表現を簡潔にする。(ぜい肉をそぎ落とすのだ!)
 - ④ 制限字数はできるだけ上限いっぱいまで使う。(最低でも8割以上9割は書こう)
- Ⓜ 「〇〇字程度・前後」はその1割までの増減は許容範囲



4. 最後に … 採点者(第三者)が1回読んで理解できる日本語かどうか点検

日本語として不自然さはないか?

4. 問題例

次の例題で実際の問題にチャレンジしてみてもらいましょう。 ※網掛け部分がトピックの箇所

次の文章を読んで、その大意を150字以内の日本語で述べなさい。

The relationship between teacher and student and that between slave owner and slave are both based on the superiority of the one over the other. The interests of teacher and pupil lie in the same direction. The teacher is satisfied if he succeeds in furthering the pupil; if he has failed to do so, the failure is his and the pupil's. The slave owner, on the other hand, wants to exploit the slave as much as possible; the more he gets out of him, the more he is satisfied.

At the same time, the slave seeks to defend as best he can his claims for a minimum of happiness. These interests are definitely antagonistic, as what is of advantage to the one is detrimental to the other. The superiority has a different function in both cases : in the first, it is the condition for the helping of the person subjected to the authority; in the second, it is the condition for his exploitation.

The dynamics of authority in these two types are different too : the more the student learns, the less wide is the gap between him and the teacher. He becomes more and more like the teacher himself. In other words, the authority relationship tends to dissolve itself. But when the superiority serves as a basis for exploitation, the distance becomes intensified through its long duration.

The psychological situation is different in each of these authority situations. In the first, elements of love, admiration, or gratitude are prevalent. The authority is at the same time an example with which one wants to identify one's self partially or totally. In the second situation, resentment or hostility will arise against the exploiter, subordination to whom is against one's own interests.

教師と生徒の
関係
奴隷主と奴隷
の関係
優越に基づく



両者の権威の
力関係

両者の権威の
心理状況

教師と生徒、奴隷主と奴隷の関係が、superiority と authority という観点においてどう違うかを述べた文章である。段落内の構成も、以前に勉強した英語特有の論理「抽象→具体」に展開していることにも注目しましょう。キーセンテンスで、筆者の言いたいことを主張して、その後でその説明をしているのですね。各段落の要点をまとめながら、次のような表の形が頭の中にまとめられれば、要約はそう難しくはないでしょう。

	superiority (優越)	authority (権威)
教師 VS 生徒	利害: 同じ方向 優越の機能: 支援	力関係: 接近 心理的關係: 敬愛・同化
奴隷主 VS 奴隷	利害: 逆方向 優越の機能: 搾取	力関係: 疎遠 心理的關係: 憎悪・反発



それではこの表を基にして、解答例を作ってみましょう。

【要約例】

教師の生徒への優越は利害が同じなので生徒の進歩を支援する。一方、奴隷主と奴隷の利害は相反し、奴隷は最小限の幸福の防衛に努めるのに対し、奴隷主は最大限の搾取に努める。生徒は学ぶほど先生に接近し敬愛するので権威は消滅に向かうが、奴隷主の権威は搾取の機能を持つので、奴隷は憎悪の念を抱き両者の距離は隔たる。(150字)

【全訳】

教師と生徒との関係、および奴隷の主人と奴隷との関係は、両方とも前者の后者に対する優越を基盤にしている。教師と生徒の利害は同一方向にある。つまり教師は生徒を進歩させることに成功すれば満足し、もしそれができなければ、失敗したのは教師でもあり、生徒でもある。ところがこれに対して、奴隷の主人は奴隷からできるだけ多くを搾取したいと考えており、奴隷から多く搾取すればするほど満足なのだ。

と同時に、奴隷は最小限の幸福に対する自分の要求をできる限り守ろうとする。前者にとって利益になることは後者にとっては不利益になるので、両者の利害ははっきりと対立しているのだ。両者の場合、優越は異なった機能を果たしているのだ。すなわち、第一の場合には、優越は権威に従わされている人を援助するための条件であり、第二の場合には、彼らを搾取するための条件である。

これら二つの型における力関係もまた異なっていて、生徒が多く学習すればするほど、生徒と教師の間の隔たりは狭くなる。生徒はますます教師自身に似てくる。言い換えれば、権威関係は消滅する傾向にあるのだ。しかし、権威が搾取の基盤となっている場合は、それが長く続く間に両者の隔たりは増す一方である。

これらの権威関係のそれぞれでは心理状況も異なる。まず第一に、愛情、尊敬、感謝などの要素が支配的である。権威は同時に人が、部分的または全面的に自分自身をそれと同一にしたいと思う模範でもある。第二に、搾取者に従うことは自分自身の利益に反するので、搾取者に対する憤慨や敵意が生じるのである。

●白紙答案は絶対に避ける

時間が足りなくて本文を最後まで読めなくても白紙で出してはならない。途中まで読んで「テーマや筆者の主張」らしきものが見つかったら、それだけでも答案に書く。部分点がもらえる可能性がある。